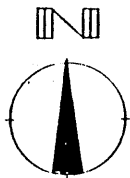


ボ - リ ン グ 案 内 図

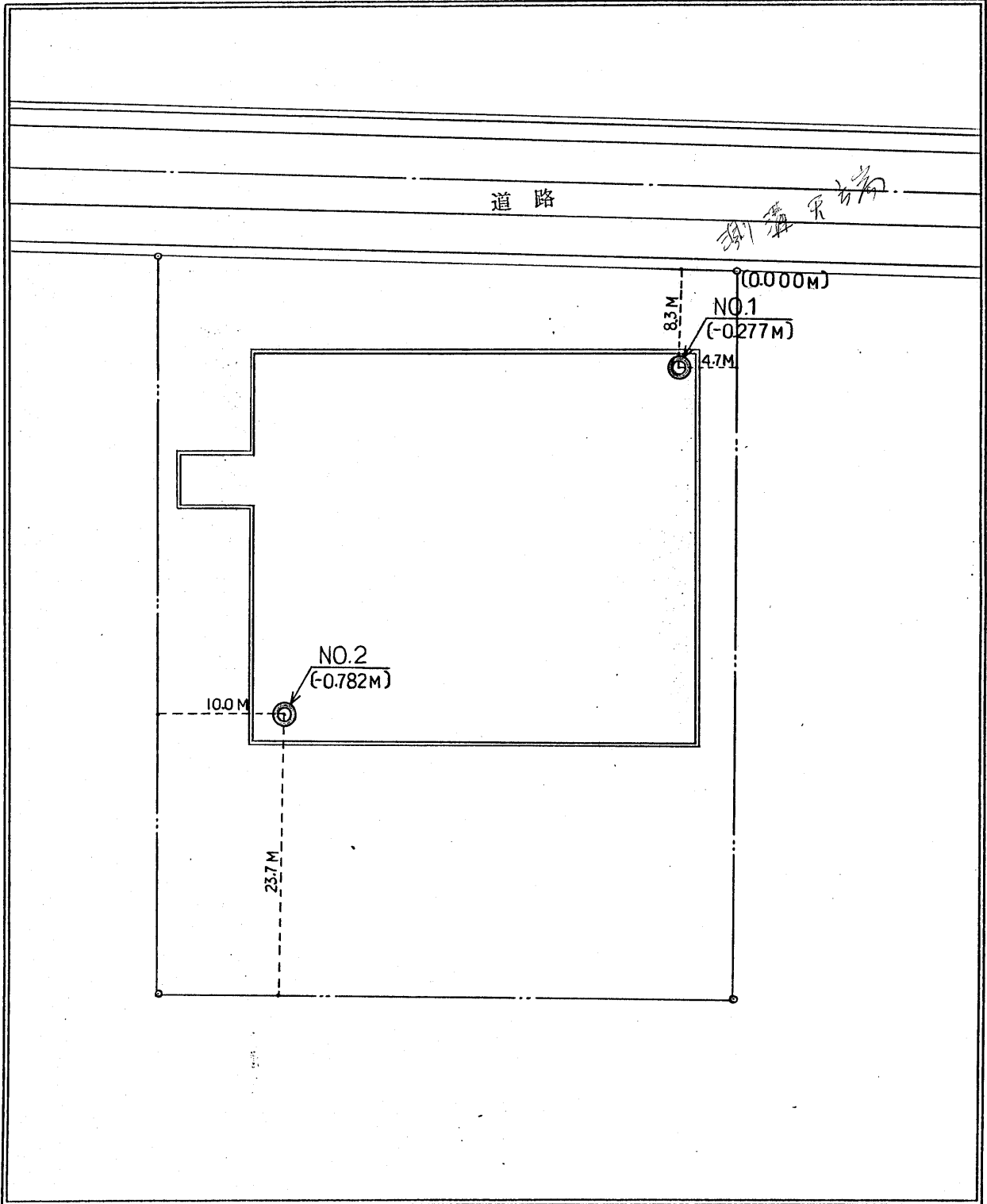
(図 - 1)



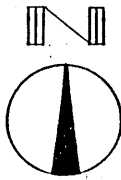
S=1:25000

ポ ー リ ン グ 位 置 図

(図 - 2)



謝 辞 天 井 等



S=1:500

ボーリング柱状図

(仮称) 西部体育館新築工事
 調査名 に伴う地質調査 孔番 No. 1 地盤高 -0.277 m

調査場所 宇都宮市明保野町地内 (基準面 北東角境界線)

地 形 _____ 摘 要 _____

調査期間 昭和 61年 1月 30日 ~ 2月 1日

地下(孔内)水位 G.L.-7.00 M

調査担当者 _____

標 地下 水位 高 (m)	深 度 (m)	層 厚 (m)	土 質 記号	土 性		備 考	(註) 試 料			原 位 試 験 深 度 (m)	標 準 貫 入 試 験								
				色 調	相 対 密 度		番 号	記 号	採 取 深 度 (m)		打 撃 回 数								
											10	20	30	40	50	60	70		
	0.40	0.40	表土	灰		7植物混入													
1				茶		若干粘り	1		1.3.2	1.15	6								
2				褐色		緩分砂灰混入	2		2.2.4	2.15	8								
3	2.80	2.40	□-△	茶		2.0m以内砂層の浮石混入	3		1.1.20	3.15	2								
4	3.60	0.80	浮石	茶		粘土不均質含水	4		1.2.2	4.15	5								
5				褐色		緩分砂灰混入	5		1.1.15	5.15	3								
6				褐色		4.8m以内粘土層を呈す	6		2.2.3	6.15	7								
7	6.75	3.15	□-△	茶		スリット有機物混入	7		23.27	7.15	50								
8				茶		5.5m以内若干砂混入	8		12.32.6	8.15	50								
9				茶		2.0m以内砂を夾む	9		11.11.9	9.15	31								
10	10.25	3.50	砂礫	茶		2.50~2.80m以内砂分多し	10		50	10.15	50								
				色		礫径10~30%内外の礫多し			10	10.25	10								

(註) ○ 標本試料 ■ 乱した試料 □ 乱さない試料

ボーリング柱状図

(仮称) 西部体育館新築工事

調査名に伴う地質調査 孔番 No. 2 地盤高 -0.782 m

調査場所 宇都宮市明保野町 地内 (基準面 北緯河川堤防)

地形 _____ 摘要 _____

調査期間 昭和 61年 2月 3日 ~ 2月 4日

地下(孔内)水位 GL-6.90 M

調査担当者 _____

標地下水位 高(m)	深度 (m)	層厚 (m)	土質記号	土質	土性		備考	(註) 試料			原位置 試験深度 (m)	標準貫入試験							
					色調	相対密度		番号	記号	採取深度 (m)		打撃回数							
												10	20	30	40	50	60	70	
	0.30 0.60	0.30 0.30		茶土			2層の砂混入												
				茶褐色			緩分砂混入	1		1.15 1.46	31								
	2.15	1.55		〇-ム			緩分粘土あり	2		2.15 2.45	2								
	3.15	1.00	V V	浮石粘			粘土不均質	3		3.15 3.45	1								
	3.80	0.65		粘土〇-ム			粘土あり	4		4.15 4.45	6								
				茶褐色			砂質土混入	5		5.15 5.55	2								
	6.70	2.90		〇-ム			若干スリヤ混入	6		6.15 6.46	3								
				茶灰色			5.0m付近粘土	7		7.15 7.29	50								
				茶灰色			最大粒径70	8		8.15 8.38	50								
				砂礫			~100mm内外の礫	9		9.15 9.45	47								
	10.45	3.75		砂礫			9.0m付近砂	10		10.15 10.45	39								

(註) ○ 標本試料 ■ 乱した試料 □ 乱さない試料